

研究課題名	脳卒中・脳血管障害患者における人工知能を用いた画像解析研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
研究期間	2023年 7月 1日(倫理委員会承認後)～ 2030年 3月 31日
対象者	2015年1月から2029年12月の間に、広島大学病院および東広島医療センターで脳卒中・脳血管障害による治療を受けられた患者さん
意義・目的	脳卒中診療や脳血管障害診療において、画像診断による治療方針の決定は、極めて重要な役割を占めます。しかし、画像検査解釈が難しく治療選択に難渋する場合や、判定者間での検査解釈の異なり、治療方針が大きく異なってしまう場合も生じる場合があります。本研究によって手術リスクや予後など、臨床上重要な指標を予測するシステムを開発することができれば、判定者間での検査解釈の違いの解消、予後予測、診断アルゴリズムの作成などにより、脳卒中診療の向上に大きく貢献できると考えられます。
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報、画像情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、治療日時、血液データ、神経学的所見、ADL、mRS、手術内容、治療デバイス、合併症、合併疾患（高血圧、糖尿病、高コレステロール血症、不整脈、心疾患、肺疾患、動脈狭窄等）、合併疾患に対する投薬状況、生活習慣（喫煙歴、飲酒歴等）、身長、体重、body mass index）です。</p> <p>また、画像情報（MRI、CT、脳血管撮影検査画像、エコー画像）を用いて解析を行います。</p> <p>取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p> <p>東広島医療センターからも、上述のように誰のものか分からないように加工された情報をパスワードロックをかけたUSBメモリに保存し、郵送によって広島大学が受け取り、解析します。</p>
共同研究機関	<p>広島大学病院、東広島医療センター</p> <p>研究の実施体制</p> <p>研究代表者 広島大学病院脳神経外科 教授 堀江信貴</p> <p>共同研究機関（研究機関、研究責任者、研究機関の長）</p> <p>東広島医療センター 脳神経外科 部長 貞友 隆、 院長 勇木 清</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
個人情報の保護について	

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5227

広島大学病院 脳神経外科 医科診療医 大西 俊平